

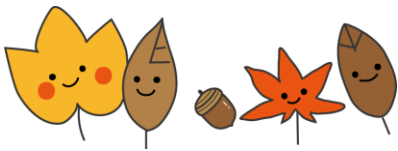
ごとう通信

第 239 号

令和 2 年 11 月 1 日

「今年は時間が過ぎるのが早いですねえ」という感想は僕だけではないかったようです。やはり多くの方が感じられていました。いろんな行事がなくなったり控えめになったりするってこういうことですね。

個人的には昨年末、帰省もしなかったのですが、本当に何の行事もない一年になってしまいました。毎年帰省するのですが、春に2回ほど広島出張があったので「今年はいいかなあ」と思っています。帰省から始めようと思っています。



そして気づけば過ぎやすい

秋。例年なら爽快感で満たされますが、今年はいまいちですね。

やはり気持ちの面で何か閉塞感があります。この上、台風などが

襲ってこないように祈るばかりです。

さて、例年だと年に40回ほど講演会があり、半分くらいは地方に行くのですが、この状況でほとんどなくなってしまうました。オンラインといういい手があるんです。その土地に行くという楽しみが奪われてしまい残念な半分、日曜日が確実に休みになって体力的にはとても楽になりました。

そんな中ですが今月は久々に出張。富山県に行くことになりました（今のところ）。東京圏を出るのは何カ月ぶりでしょうか。新幹線も久しぶり。ちよっとワクワクします。

大学生の学生生活

小学生から高校生まではそれなりに日常生活が戻ってきているようですが、大学生はまだまだのようです。来年一月、僕が担当する母校の大学講義は早々にオンライン化が決まりました。講義半分、実習半分という大学なのはどうするんだろうと心配になってしまいます。また、一時は閑散としていた早稲田大学周辺。少し学生が戻ってきているように感じますが、まだまだ少ないです。



が、まだまだ少ないです。すね。学園祭シーズンなのに残念です。

高校生までは大丈夫で大学生の対面授業はダメという根拠